



書評

[評者]

賀来 満夫

東北医科薬科大学感染症学教室
特任教授/東北大学名誉教授

シン・感染症 999 の謎

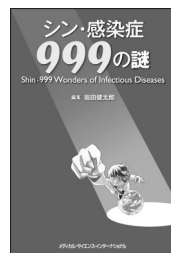
Shin・999 Wonders of Infectious Diseases

岩田健太郎 編集

●A5 変 頁 784 2023 年 4 月

定価：6,380 円 (本体 5,800 円+税 10%)

[ISBN978-4-8157-3068-0] MEDSi 刊



2019 年 12 月に発生した新型コロナウイルス感染症は世界的に流行する規模の感染症：パンデミックとなり、世界全体が混乱に陥いることとなった。わが国において、5 類となった現在においても、再び感染が増加しつつあり、あらためて新興感染症のもつ脅威、怖さが浮き彫りとなっている。

このような未曾有な新型コロナウイルス感染症流行時に、わが国を代表する感染症専門医である神戸大学大学院医学系研究科微生物感染症学講座感染症治療学分野の岩田健太郎教授により編集された『シン・感染症 999 の謎』が刊行された。

“感染症”を学ぶための著書は数多くあるが、本書は他書に比べ、まったく異なる特色をもっている。すなわち、新進気鋭の感染症専門医たちが“感染症の本質”の追究を目的とし、さまざまな“感染症の謎”を詳しくていねいに解き明かし、詳細な解説を加えた内容となっている。その執筆内容は、「感染症の病態」に加え、「院内感染予防」や「予防接種」、「旅行医学」、「バイオテロリズム」、「疫学とデータ解析」、「新型コロナウイルス感染症」、「各種微生物」、「抗微生物薬」、「臨床検査」、「感染症診断学」、さらに、「感染症に関する法制度」や「公衆衛

生」、「感染症史：日本・海外」、「論文執筆と投稿」、「キャリア・ディベロップメント」、「医学教育」、「コンサルテーション・スキル」、「リスクコミュニケーション」など、まさに感染症の全領域を網羅する内容となっており、“感染症の謎”を Q & A 形式によって総合的に理解し、“感染症の本質”に迫ることができる、きわめて特色ある内容となっている。

感染症は、感染し発症する個人の病気であるとともに、人や物の移動に伴い広く伝播拡大していく社会全体の問題であり、多角的な視野に基づき、医療関連感染と市中感染を連動して捉え、総合的に対応していく必要がある。新型コロナウイルス感染症のあとに続く新たなパンデミックが起こることが確実視されているなか、感染症はこれからも永遠に続く課題であり、医療に携わるすべての医療従事者が今後も向き合っていかなければならない疾患である。本書は、感染症に的確に対応していくための指南書として最適な書であり、本書『シン・感染症 999 の謎』を“座右の書”として活用することで、「感染症の本質」を理解する医療従事者が 1 人でも多くなることを期待している。